

# 組織拡大に向け、さらなる取り組みの強化へ

# JESS社員交流会 11月12日 開催!

# 新たな仲間が国労加入を決意!



8月の東日本本部第29回定期大会以降、8名の国労加入を勝ち取っています。11月3日に開催された各地方・地区本部組織部長会議では、喫緊の課題である組織拡大に向けての意思統一をしました。こうした中、11月12日にはジェイアール東日本ステーションサービス労働組合と合同でJESS社員交流会に取り組みなど、新たな取り組みがはじまっています。

今号は、①JESS社員交流会、②各地方・地区本部組織部長会議、③新橋支部・川崎発電所分會「国労復帰歓迎会」、④国労議員団関東ブロック会議、⑤東日本工務協議会第27回定期委員会、の報告とします。

11月12日、国労東日本ステーションサービス労働組合（以下、JESS-U）と合同で、「JESS社員交流会」を横浜で取り組みました。交流会には、7月に新たにJESSの仲間となった水戸支店から、地元の横浜支店まで総勢40名が参加し、支店を越えた有意義な交流を行いました。

交流会の第1部は、少し肌寒い横浜港から「マリンシヤトル」号でクルーズを決定し、船上での交流。第2部は、場所を横浜・中華街に移動し

て交流会を行いました。司会を務めたJESS-Uの池田委員長は、「6月にはアドバイスを頂きながら本日を迎えた。この間の取り組みの経過については資料に配布しているので参照を！尚、年末手当については11月6日に2・85箇月で会社に申し入れた！」と挨拶。続いて、合同主催者を代表した国労東日本の菊池委員長は「引き続き、会社とは対等な立場で、労働条件や手当を勝ち取るべく取り組みを行うが、その為には皆さんの力が

必要」と、労働組合加入を訴えました。

待ちわびた乾杯を、地元の国労神奈川地区本部・長瀬委員長が行い懇親に入り、舌の滑りが良くなった頃を見計らって自己紹介。その後、国労東日本彦田青年部長のクイズで盛り上がり、気が付けばあっという間に終了の時刻を迎えました。

終了後には、国労とJESS-U、それぞれに組合加入を決意するとうい、嬉しい「お土産」まで付いた交流会は、最大の成果を上げて終了しました。

武田組織部長からは①組織の現状について、②一括和解以降の状況の変化について（JR東日本・JR貨物会社・他労組について）、③関連労働者の組織化について、④組織拡大に向けた今後の取り組みと課題について、ア、新規採用者対策、イ、通年闘争の取り組み、ウ、本部・東日本の取り組みの報告と、一年間の行動計画が提起されました。

最後に武田組織部長から、「職場の仲間の悩みを聞きながら大切にしてきたことや、日常的に『国労に入らないか』と声掛けをしてきた努力で国労の組織拡大をしてきている。全組合員が共有し、声掛けできる体制を作るために全分会オルグの実施を要請する。東日本本部としても地方と力を合わせて、全力を尽くしていきたい」と会議をまとめました。

## 各地方・地区本部 組織部長会議 11月3日 開催!

### 全組合員が共有し 声掛けできる体制を



第29回大会以降に組織拡大がされた、東京地本・仙台地本・高崎地本から拡大の経過について報告を受け、その後、各地方から「全分会オルグに向けて取組んでいく」、「定期大会で組織拡大の発言が少なかつたが、今後実践するために一つひとつ努力していきたい」、「組織対策プロジェクトを若手中心に立ち上げて、青年部の要求を会社につけて目に見える運動をつくっていききたい」など、組織拡大に向けた取り組みと特徴的な職場状況について報告されました。



（組合員の購読料は組合費に含まれます）

港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 菊池忠志  
編集責任者 樋口孝重

No. 772 定価 20円  
2015年 12月15日

結びつき つながり生かして 大胆に 国労加入を 訴えよう!

QRコードからでも閲覧できます  
<http://www.e-nru.com/>

**新橋支部  
川崎発電所分会**  
**国労復帰  
歓迎会**  
**11月13日 開催!**

新橋支部・川崎発電所分会は、11月13日に「正田智明さん国労復帰歓迎会」を開催しました。

柳沢分会書記長の司会ではじまり、田中分会長からは「新規採用者の組合説明会やこの間の職場での取り組みの中で正田さんの国労加入が実現し

た」と挨拶がありました。乾杯後、東日本本部・伊藤業務部長から東日本本部における数々の国労加入の話を受け、東京地本・鎌田委員長からは「東京地本としても和解以降102名の国労加入があり、引き続き職場の労働条件改善、組織拡大に奮闘したい」と挨拶。また、新橋支部・伊藤委員長から「9月の大井町駅分会の拡大から川崎発電所分会での国労加入。職場の取り組みから引き続き国労加入を勝ち取りたい」と挨拶がされました。参加した組合員一人ひとりが歓迎の言葉をかけられた正田さんから「いろいろあったが、やはり国労だ」と力強い決意が示され、川崎発電所分会としても「今日という日を全体で確認をして、新たな気持ちで、大胆に国労加入を訴えよう」と締めくくられました。



**国労議員団  
関東ブロック会議**  
**11月8~9日 開催!**

国労議員団関東ブロック会議を、11月8~9日、長野県松本市で開催しました。本年は統一自治体選挙があり、秋の開催としました。

関東ブロック議員団は、東京、長野、高崎、水戸、千葉の各地本の議員団で構成しています。

会議は河野達男事務局長（新宿区議）の司会で、東日本本部・菊池委員長より国労を取り巻く情勢、政治をめぐる動向などの挨拶と、地元長野から歓迎の挨拶を受けました。

議題に入り、東日本本部・宮崎副委員長から、組織拡大の闘い、JRの

**工務協議会**  
**第27回 11月21日 定期委員会**

国労東日本工務協議会は11月21日、東京地本会議室において、第27回定期委員会を開催しました。

司会を高橋副議長（東京地協）、議長には石井委員（東京）を選出して議事に入り、東日本本部を代表して佐藤書記長から年末手当を巡る状況をはじめ、取り



巻く情勢を報告。続いて、湯浅議長から「職場の標準数は新入社員を入れた算出で、実態はマイナス。どこ

の職場も人員不足、業務増による超過勤務の増加も深刻。頻繁に発生する事故の背後要因には「人が足りない・仕事が忙しい・急激な世代交代」があり検証が必要」と訴え、組織拡大についても「エリアの工務協として、横のつながりを作り、もう一歩踏み込んだ取り組みを！」と要請しました。来賓の全国工務協・尾崎事務局長（東海）より全国の状況報告の後に、大津事務局長の経過・活動方針（案）の提起を受けて討論に入りました。「職場では毎年退職者が出る中、技術継承が進んでいない」（新潟）、「新幹線では電力との仕事境界が曖昧。融雪マット設置も工事の見積もり段階から保線とは馴染まない。本社、支社の打合せが不足している」（仙台）、「人不足で現場管理者も苦しんでいる。また、パートナー会社もローパーが辞めて人が足りず、JRからのエルダー社員をあてにしている実態」（山形）、「ユニオン建設に出向。MCRの取り付けが丸投げされているが、教育が不十分で冬に間に合うか不安」（秋田）、「技術継承に現場は本気になっていない。現場長は仕事を回す事が優先」（盛岡）、「管理者が夜業立会いを失念。支社に申し入れをしている」（神奈川）、「組織対策で交流会。会社は職場の要員不足をモニタリングシステムで補おうとしている。若手には業研で浸透を図ろうとしている」（東京）、「会社の安全対策は働く人任せ、会社として労働環境を整える視点が無い」（水戸）、「職場に女性社員も増えているが環境設備が整っていない」（千葉）、「9月に組織拡大交流会開催。普段からの声かけが重要」（高崎）



（河野事務局長記）

10名の発言を踏まえ、湯浅議長は「工務職場はどこも大変な実態。急激な世代交代の中で、次の世代の為にもしっかりとしたルールを作るのが大切。メンテの検証と組織拡大を一体として運動を押し上げていきたい」と集約し、最後に団結ガンバローで終了しました。尚、湯浅議長（再）、大津事務局長（再）以下、新役員を選出しました。

**アフラック**  
最新のがん保険、**新登場。**

通院・入院・抗がん剤・診断一時金  
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い  
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

はじめてダック

■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）  
**アベニール株式会社**  
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。  
（引受保険会社）  
**アフラック**（アメリカンファミリー生命保険会社）  
東京第二法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F  
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036  
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日